

ヘルスケアをもっと身近で感動的に



株式会社ミナカラ

代表取締役 社長・薬剤師 喜納 信也

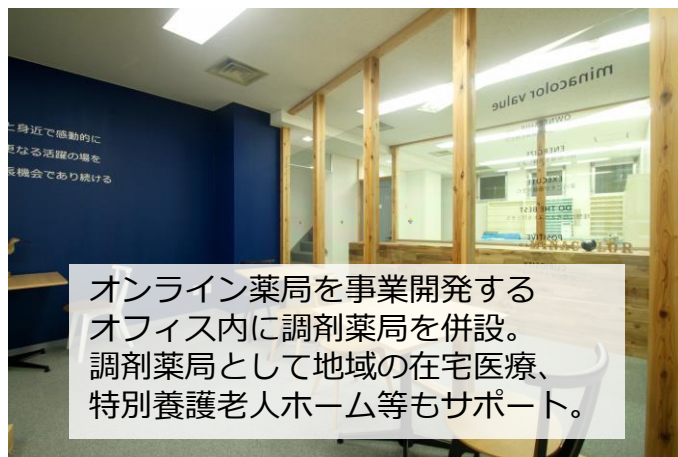


代表取締役 社長：喜納 信也

北里大学薬学部卒業 / グロービス経営大学院卒業 (MBA)  
ERPソフトウェア企業にて開発・コンサル・営業、事業部立ち上げ等に従事。  
保険調剤薬局にて薬剤師として従事。

2014年 株式会社ミナカラを創業・サービスリリース。  
薬局・医療現場 × エンジニアリング の知見を活かした取り組み・事業を提供

## 薬剤師・エンジニアの混合チームで、通常の調剤薬局とオンライン薬局の両面の利点を活かした事業モデルを開発・展開



オンライン薬局を事業開発する  
オフィス内に調剤薬局を併設。  
調剤薬局として地域の在宅医療、  
特別養護老人ホーム等もサポート。

# ミナカラは薬剤師・調剤薬局を活用しオンラインサービスを提供するオンライン薬局

## 薬剤師相談

ワイドシリン細粒20% 200mg

鼻風邪と診断され  
ワイドシリン細粒20%200mg(ミヤBM細粒入)とカル  
ボシステインシロップ5%「タカタ」を買いました！  
食後ののですが4ヶ月の子供でうまく飲ませる方法教  
えて下さい！  
朝に母乳→粉薬→母乳→シロップで  
おえって何回もしてはしてし

回答(1件)

高山 (薬剤師)

ご質問ありがとうございます。返答が遅れてしまい、  
大変申し訳ございません。

いくつかの薬を記載させていただきます。

【ワイドシリン細粒】  
・果汁の低いオレンジジュース（果汁25%）に混ぜる  
・お子様の上あごに少しずつ塗るようにして、飲んで  
もらう

注意：母乳に混ぜると母乳を薄くなってしまってお子  
様もいるので、母乳と混ぜるなどはないでくださ  
い。

【カルボシステインシロップ5%「タカタ」】  
・こちらも少しずつ上あごに塗るようにして、飲んで  
もらう

上あごに塗るのが難しい場合は、スポイトなどで少し  
ずつ飲ませる方が良いでしょう。一度に飲ませると  
甘すぎるので、これが苦手な子もいるようです。（開  
封後は必ず冷蔵庫で保管してください）

いつでもどこでも薬剤師が患者を  
ケアする遠隔医療相談サービス。  
過去2万7千件以上サポート。  
日常の服薬中の困りごとが占める。

## おくすり宅配

SoftBank 1:37 100%

ミナカラ

ご注文に関する疑問などがありましたら、  
薬剤師にチャットで相談しましょう

薬剤師がお薬をお届け！  
おくすり宅配

注文する

✓ お届け先は居宅（ご自宅または、介護施  
設、老人ホームなどの施設）に限りま  
す。

✓ 近くに薬局がない、お子さまを連れて薬

オンラインで注文後、調剤済み処方薬を  
薬剤師が居宅に届け対面服薬指導を実施。  
薬局に来局困難な患者の服薬継続に活用。

## 市販薬EC 医薬品開発

minahada

minahadaを  
手にとってくださったあなたへ

アフターフォローサービス

私たちはお薬が届いてからずっとあなたをサポートします。

01  
チャット相談

02  
Q&A

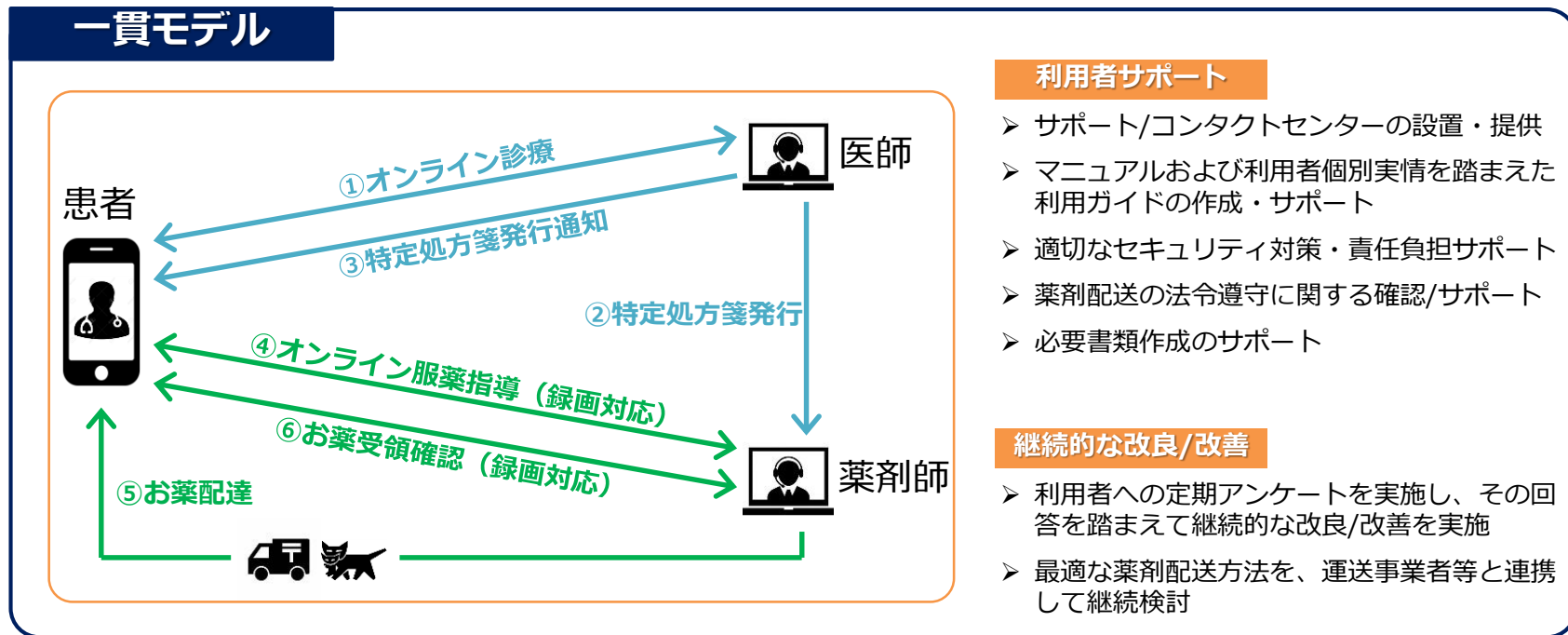
03  
薬局マガジン

オンラインにつながる市販薬を  
開発（QRコード付き市販薬）。  
使用中も薬剤師がサポートする  
国内初の医薬品をオンライン販売

# オンライン診療・オンライン服薬指導・医薬品配送 一貫モデルを地域医療機関に提供

国家戦略特区・兵庫県養父市（2018年10月25日・養父市記者会見内容より）

地域の患者・医師・薬剤師を繋ぐ診療から薬の受取まで患者が在宅のまま安全確実に提供する仕組みを「一貫モデル」として提供



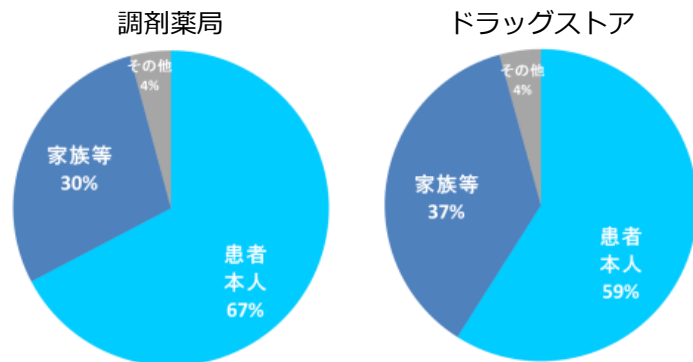
【課題：件数不足】適切なエビデンス・症例・事例の件数を増やし今後の議論に活かすことが必要

## ● 患者本人に直接服薬指導を提供できていないという課題

調剤薬局等における対面服薬指導では、本人以外（患者の家族など）が相手となる割合が30～40%に上り、必ずしも患者本人を直接確認しながらの服薬指導ができていない。

オンライン服薬指導の活用で、患者本人を確認しながら服薬指導を行いやすくなる等の改善が期待される。

【補足】 対面服薬指導を行っている相手



出典：

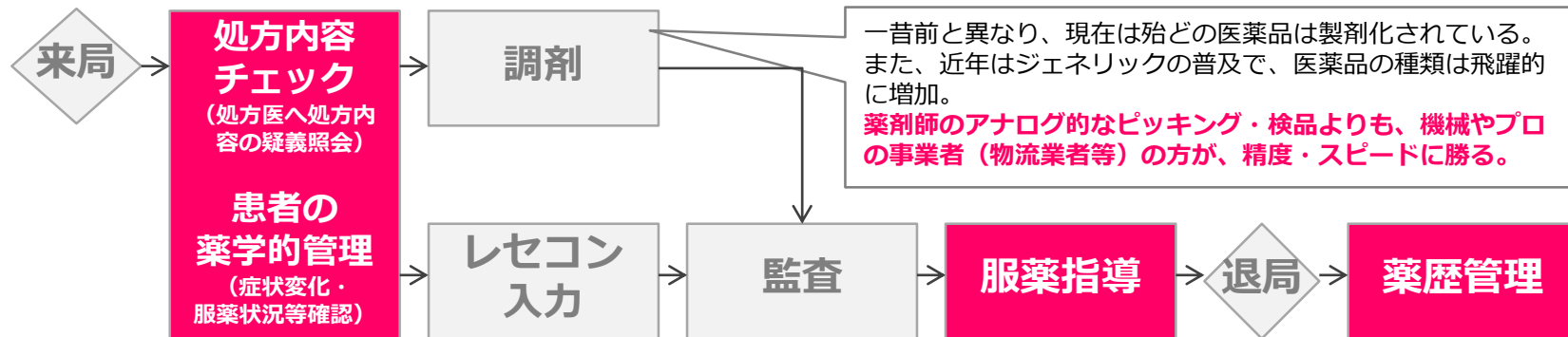
中部・東海・神奈川を中心に650の薬局に対しての定点観測を元に作成

また、現状のオンライン服薬指導は、オンライン診療後の実施が必要要件となっているが、オンライン服薬指導の実施・活用可否の決定権を薬局・薬剤師が持てるようになることも期待する。（対面服薬指導においても、過去複数回・長期にわたり患者本人に直接服薬指導できていないケースで、薬剤師がオンライン服薬指導の実施を患者・患者家族に提案し実施することで患者の管理指導を強化する等）

## ● 薬剤師の本質的な業務以外に薬剤師のリソースが割かれているという課題

### 一般的な薬局の業務プロセスフロー

■ = 薬剤師の大切な業務



### みなカラが考える薬剤師の本業

- 処方内容に対する薬学管理的なチェック（医師の処方に対するダブルチェック）
- 患者の服薬状況・予後モニタリングに薬学管理的なチェック（服薬指導）と、日常生活での服薬中の患者の変化や困りごとを解決するアフターフォロー（日常生活における服薬と療養サポート）

薬剤師が果たすべき本業が「薬学的な管理と指導」「管理責任を果たす事」等にある一方、棚から薬を取ったり、粉薬等を調剤するといった機械化・自動化できる部分や、患者宅への訪問の移動時間にも多くの時間が割かれてしまっている。

業務の管理責任を薬局・薬剤師が持てる形で、作業等の機械化・自動化、配送における他業種（物流業者等）の強みの活用などがより進み、薬剤師が本業で患者・他医療者から支持されるようになることを期待する。

## ● 薬局に患者がいるときだけでなく、日常生活・服薬時こそ薬剤師が登場すべきだができていないという課題（いつでもどこでもケア）

薬剤師が果たすべき本業の一つは「薬学的な管理と指導」にあり、患者の状況を**管理（モニタリング）**した上で指導することが大切だが、現状日常生活での服薬中に薬剤師が登場し、管理指導できているケースが少ない。

多くの患者の服薬課題は薬局に来局しているタイミングではなく日常生活中に発生しており、ミナカラ薬局においてオンライン医療相談サービスを提供したところ、オンラインでリアルタイムに日常生活の服薬課題を解決することで患者から多くの感謝と支持をいただいている。

**オンラインを活用した日常生活・服薬中での薬学的な管理指導**は将来の薬剤師の活躍機会の一例となると考えている。

### 真のかかりつけ薬剤師の実現に向けたミナカラの取り組み例（薬剤師によるオンライン医療相談）



出典：ミナカラ薬局HP  
<https://minacolor.com/parts/19/questions/31630/>

「薬の説明もわかりやすかった点がよかったうえに、サプリや食品との飲み合わせについても書かれていた点がメーカー説明になく、生活するうえで役立ち安心できるので、たいへんよかったです。その点が消費者目線で、今後ぜひ続けていただきたいところです。」

医療関係の用語もわかりやすく丁寧に解説いただき感謝です。

「高橋様、お返事ありがとうございました。遅い時間にすみませんでした。不妊治療中で不安だらけの私の質問に丁寧に回答していただけて涙が出るくらい優しさを感じました。ありがとうございます。」

今後、かかりつけ薬剤師がオンライン服薬指導システムを活用し日常の服薬サポートを実施したり、患者の残薬等をリアルタイムに確認するなど薬剤師が本業特化で効率化される取り組みにつなげる。

## ● オンラインならではの利点の活用にも目を向けることも重要

### オフライン VS オンラインではなく、利点を活用したハイブリッドモデルを目指すこと

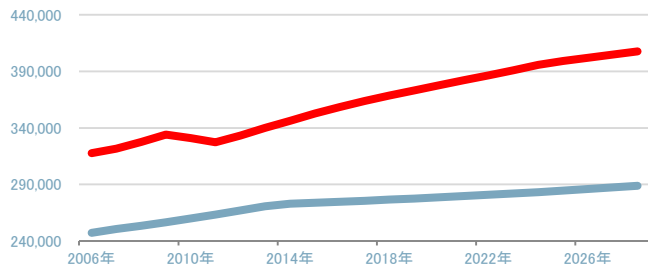
- ・ 対面服薬指導が重要である前提を持ちつつ、オンラインのツールでの下記などの利点も注目
  - 動画記録された服薬指導の内容を後日でも再生して確認することができる
  - 動画を同時に文字起こしし文章で読めたり、画像やホワイトボード機能を残すことができる

### オンライン服薬指導がチーム医療の幅が広がる機会であること

- ・ 運送業者のスタッフがiPad等を持ち患者宅に伺うことで、iPad等を操作できない患者もオンライン医療を受けられるようになるなど、運送業者等のいままでチーム医療の一員ではなかった方も入り幅が広がる可能性

### 薬剤師の離職者の活躍や働き方改革につながる機会であること

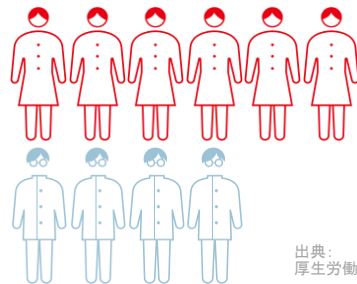
- ・ 薬剤師は女性の比率が高く、非正規雇用も多く、臨床の現場にいない方も多いという特徴がある。将来的にオンライン経由での活躍機会が生まれることで薬剤師の働き方改革にも繋がる。



出典：厚生労働省「第2回薬剤師需給の将来動向に関する検討会」を元に作成

薬剤師数  
(供給)

薬剤師従事者数  
(需要)

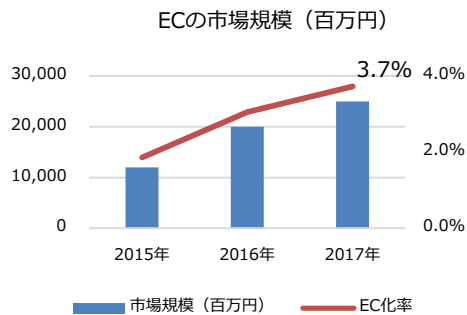
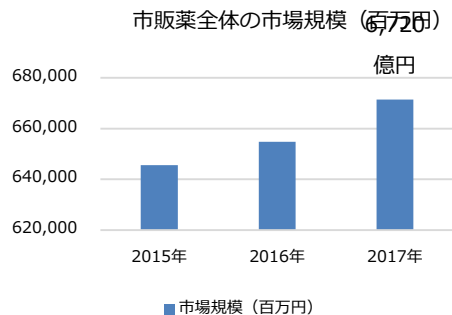


出典：厚生労働省「第2回薬剤師需給の将来動向に関する検討会」を元に作成

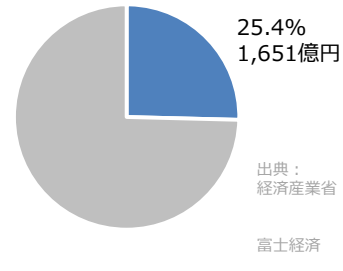


## ● 一般用医薬品・市販薬（以下、OTC）についてもオンライン販売方法の適切化とスイッチOTC（医療用医薬品のOTC化商品）拡充に向けた議論が必要

OTCのネット販売（EC）市場は大きく成長しており、いつでもどこでもケアという点は大きく進んでいる。



OTC市場に占めるスイッチOTCの市場規模



OTC活用患者の約1/4はスイッチOTCを選択。患者自身が自身の健康を自身で改善していく上でも、保険医療費の削減につなげる上でも、OTCの適切な活用とスイッチOTCのラインナップ拡充の議論が必要。

- ・ 医薬知識のない患者がOTCを適切に活用できるよう、購入時の判断材料（医薬情報等）の提供
- ・ OTCにおける薬学的管理指導・服薬中のオンラインサポートの提供（いつでもどこでも適切にケア）
- ・ オンラインでのOTC提供におけるプロの事業者（物流企業・製薬企業等）の活用機会の拡大
- ・ 処方せん医薬品以外の医療用医薬品等のスイッチOTC化の要望・提案等をミナカラとしても実施していく